

3年生、最後の挑戦

文化新聞

6月号⑩

【発行・編集】
委員長 本道睦穂
副委員長 梨本あかり



三年生女子部のファッションショーの準備をインタビュー形式で取材しました。インタビューに答えてくれた方、撮影を快く承諾してくれたクラスの皆さん、準備中でお忙しいところ、ご協力いただきありがとうございます。

三年一組

三年一組が制作過程でこだわったことは装飾の見栄えだ。モデルの共通点をあらわすような飾りになるようにした。テーマの「輝く未来」を再現するために私服のデニムなどを壊して、それをリメイクし昔から未来へ繋がっている様子を表現することを目指した。クラスで協力して一つの衣装を作り上げることががんばった。用事がかぶって班で集まれないことが大変だったけれど、協力して集まることで乗り越えた。

観客の皆さんには、「最後のファッションショーなので自信をもって挑みたいです。応援よろしくお願いします！」とメッセージを残した。



三年二組

三年二組が制作過程でこだわったことは見ている方が衣装を見て、宇宙を想像してもらえようようにすることです。なにもないところから生地を用意してつくることで達成感を味わえてよかった。コンテの提出が遅れてしまったため減点されてしまった。

観客の皆さんには「一瞬たりとも目を離さないでください！」とメッセージを残した。

三年三組

三年三組が制作過程でこだわったことは一人ひとりの個性を出すことだ。ファッションショーテーマの輝く未来に寄せて個性の輝きで、未来の輝きを表現した。協力してきらきらしたポイントを付けることが楽しかったそう。クラステーマに沿った雰囲気することに苦労したり、クラスで対立してしまうこともあったが、一人ひとりが考えを伝えたことで、まとめて制作ができた。

観客の皆さんには「三年三組みんなで頑張ってテーマに近づけたので楽しんでみてください！」とメッセージを残した。



編集後記

三年生を取材して、最後のファッションショーにかける熱い思いに触れることができました。

どのクラスも、クラスのテーマや個性にこだわった衣装をつくっていて、十人十色の工夫をしているのがすごいと思いました。

昔履いていた私服のデニムがどんな衣装に生まれ変わったのか、宇宙がどのように表現されているのか、気になることが後をつきませんでした！